



# 有明高専だより

第119号  
2006.6



校長だより	2
卒業式・修了式／入学式	3
新任教員紹介	4
人事交流教員紹介	5
新任職員紹介	6~7
研修旅行記	8~9
新入留学生紹介／編入学生紹介	10
新入生阿蘇オリエンテーション	11

## 目次

専攻科新入生一泊研修／始業式へのメッセージ	12
新入生歓迎行事／キャンパスクリーン作業	13
春季球技大会	13
岱明寮だより	14
卒業生・修了生の進路／学生表彰	15
ロボットグランプリ2006開催	15
トピックス・編集後記	16

※本文中ににおいて、学生氏名の前にある英数字等は、所属クラスを表します。

(数字：学年、M：機械工学科、E：電気工学科、I：電子情報工学科、C：物質工学科、A：建築学科、専：専攻科)

# 校長だより

## 進路支援室開設に寄せて

校長 尾崎 龍夫



高専制度が発足して45年目を迎えるが、その間、景気の好不況に関係なく、卒業生の就職率ほぼ100%を維持し続けているのは他に例を見ないことがある。就職先の大半は製造業である。もちろん、サービス業、公務員、教育職など、その他の道に進んだ者もいる。最近、企業からの求人が急増している。我が国におけるものづくりの重要性の再確認、団塊世代の退職時期到来、JABEE認定なども考えられるが、これまでの卒業生諸氏の活躍、実績が最大の要因であろう。いずれにしても、高専教育が改めて正しく評価されるようになったことは大変喜ばしい。学生諸君は、技術者あるいは技術に関連した職業を目指して、高専に入学したと思う。入学時の夢の実現に向か、君たち全員が在学中を通して努力する気持ちを持ち続けてくれることが、我々教職員の最大の願いである。

しかしながら、少数ではあるが、学業途中で、進路変更、退学する学生が毎年居ることに大変心を痛めている。15歳での選択に思い落とし、思

い違いがあるのはやむを得ないことではある。進路変更を勧めるつもりはさらさらないが、進路変更を恥ずかしく思い、敗北と考えることはない。若いときに、悩み、迷うのは、誰にでもあることだからである。ただ、中途半端な気持ちで、学生生活を無為に過ごすのは惜しいことである。進路変更の道を選ぶのであれば、気持ちを切り替えて、新しい目標に向け、本校在学中は是非充実した学生生活を送って欲しいと思う。1年次修了の春休みには、県立・私立普通高校への転入試験受験の機会は開かれている。3年次修了認定もできることになっている。個人的悩みには、学生相談室が担当し、高学年に対しては、各学科で指導がなされている。しかし、1年生の早い時期から、自らの進路・将来について改めて考える機会を持つことが大切ではないかと思う。

そこで、この4月から、進路支援室を開設することにした。初代室長には、電子情報工学科の中村俊三郎先生に就任頂いた。進路支援室は、職業観の涵養など学年全体を対象とする講習会、進路セミナーの企画などを担当することとしている。学生諸君が、折に触れ、自らの進路について真剣に考え、充実した学生生活を送る努力を怠らないよう願っている。

## 進路支援室長あいさつ

電子情報工学科教授 中村 俊三郎



こんにちは。このたび進路支援室長になりました電子情報工学科の中村です。進路支援室は、私と学生課職員の方々で構成されています。そして、皆さん一人ひとりにとって、より良い進路選択に役立つような企画や活動を行なっていきます。

ここで言う「より良い進路選択」とは、なにも有明高専を卒業するときだけに限ったことではありません。終身雇用制が崩れてしまった現在、就職しても進路選択の機会がまた訪れることがある

かもしれません。進学することを選択したら、2年後には進路選択の機会がまた訪れます。進路支援室の活動が、卒業するときだけでなく、その後々までも役に立つ「職業観形成」の一助になるように努めていきたいと思います。

校長先生が述べておられるように、皆さんが本校在学中にしっかりととした目標を持ち続け、充実した学生生活を送ることが、より良い進路選択には欠かせません。当面の活動としては、低学年の皆さんにたいする進路セミナーの企画などを行なっていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。

# 卒業式・修了式

3月20日(月) 本校第一体育館



卒業式の始まりを待つ卒業生

良い天気に恵まれた第39回卒業式と第4回専攻科修了式は、3月20日(月)、10時30分より第一体育館で挙行されました。

卒業生185名、修了生27名にはそれぞれ「準学士」と「学士」の学位記が授与され、専攻科生にはJABEE修了認定書も同時に授与されました。式後、各学科で行われた学科の会では、学生たちはご家族や学科の先生や歴代の担任の先生たちが見守る中、涙ながらにこれまでの感謝の気持ちを伝えてくれたり、今後の抱負などを力強く語ってくれました。



起立する修了生

## 成績優秀者

機械工学科 中島 優作  
電気工学科 豊福 大騎  
電子情報工学科 西 俊哉  
物質工学科 塩崎秀二郎  
建築学科 石塚 嘉人

## 学会表彰

機械工学科 中島 優作 (日本機械学会畠山賞)  
電気工学科 江崎 圭佑 (電気学会九州支部長賞)  
電子情報工学科 川崎 誠 (電子情報通信学会九州支部長賞)  
物質工学科 塩崎秀二郎 (日本化学会九州支部長賞)  
建築学科 重田真由美 (日本建築学会九州支部長賞)

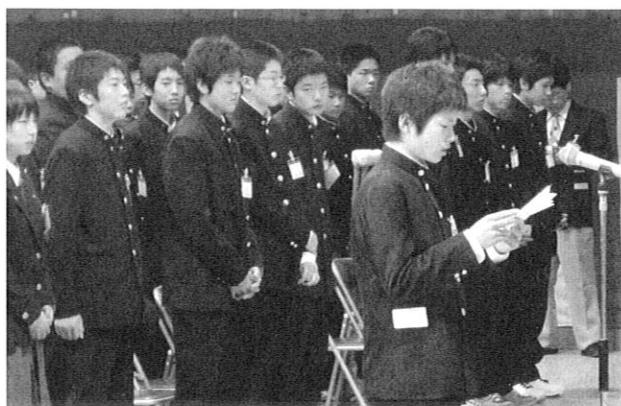
# 表 彰

# 入 学 式

4月10日(月) 本校第一体育館

3

第44回入学式と第6回専攻科入学式が4月10日(月)、10時より第一体育館で挙行されました。あいにくの桜散らしの雨となりましたが、大きな希望と多少の不安を抱いた、新1年生215名、3年留学生1名、4年編入生17名の計233名を有明高専の一員として迎えました。



誓詞を読む入学生代表

専攻科には、生産システム工学専攻15名、応用物質工学専攻4名、建築学専攻5名の計24名が入学しました。校長先生の式辞、荒尾市長・大牟田市長・後援会会长の祝辞、新1年生・専攻科生代表による誓詞、教員紹介などが行われました。



誓詞を読む専攻科生代表と入学生

# 新任教員紹介

本年度、新たに教員3名の方が赴任されました。  
そこで次の4つのことをお聞きしました。

Q1: 本校に来る前は? Q2: 高専あるいは本校学生の印象について? Q3: 趣味は? Q4: 抱負を一言



電子情報工学科  
助手  
石川 洋平

- A1:** 佐賀大学大学院博士課程の学生の傍らベンチャー・NPOをやっていました。
- A2:** 「あいさつ」が印象的でした。教職員一丸となって学生を教育しているという感じで学生は恵まれていると思いました。
- A3:** 体育系ではバスケットボール、文科系ではギターです。ドライブも好きなので大牟田や熊本に早く詳しくなりたいと思っています。
- A4:** 「教育」、「研究」を通じて学生に「継続は力」ということを教えていきたいと思います。さらに、今までの経験を活かして「社会に貢献するとはどういうことか?」ということを自らの行動で学生に示していきたいと思っています。初年度は有明高専で初の集積回路研究の土台を築き学生と共に楽しく・ポジティブに成長していきたいと思っています。よろしくお願ひします。



建築学科  
教授  
鷲 敏和

- A1:** 前職は、ダイダン株式会社開発技術本部業務管理部長です。建築設備施工（15年）と研究開発（18年）、事務・管理（3年）など幅広く業務に携わることができました。
- A2:** 本校の教職員は何事にも協力的であり、本校学生は実に礼儀正しいと感じました。
- A3:** 始めてから30数年になりますが、フライフィッシングです。毛ばりも自分で巻きます。早く教職に慣れて山河を駆け回りたいと思います。日常的な趣味は、ペット（ビーグル犬）と過ごすことかもしれません。なにしろ、暑い夜以外は私の布団の中で寝ていますから。
- A4:** 企業経験を活かして、多様性のある実践的な高度技術者を育てることがメインとなります。建築の情報化、高度化に関する研究も進めていきたいと思っております。



一般教育科  
助教授  
Richard  
Thomas  
Grumbine  
(リチャード  
トマス  
グランバイン)

- A1:** I received degrees in both philosophy and psychology from the University of Missouri at Columbia where I was also president of the fencing club and did honors work in Buddhist philosophy at the School for International Training in Japan where I stayed in a Zen monastery. I also earned Masters Degrees in Philosophy and English (TESOL) at Southern Illinois University in Edwardsville where I was president of the philosophy club. I was a JET Program ALT for three years. I also taught both English and philosophy for St. Louis Community College in St. Louis, Missouri and for Southern Illinois University Carbondale in Niigata, Japan. While at SIUC-N I was faculty advisor for the karate club and cooking club.
- A2:** I enjoy working at Ariake College and find most of the students eager to learn.
- A3:** My hobbies include audio, motorcycling, reading, photography, and camping.
- A4:** Recent research interests involve the effects of affective variables on teaching and learning foreign languages.

**A1:** 私はミズリー大学コロンビア校で、哲学と心理学を専攻するとともにフェンシング部の部長をしました。さらに哲学の上級コースとして、来日して禅寺に滞在しながら仏教哲学を学びました。また、南イリノイ大学エドワーズビル校で哲学と英語教育法で修士の学位をとり、哲学クラブの部長を務めました。JETプログラムのALTとして3年間日本で英語を教えた後、ミズリーのセントルイス・コミュニティ・カレッジや南イリノイ大学新潟校で英語と哲学を教えました。新潟では空手部と料理クラブの顧問をしてしいました。

**A2:** 学生の多くが熱心に勉強してくれるので、高専での授業を楽しんでいます。

**A3:** 趣味は、オーディオ、バイク、読書、写真、そしてキャンプです。

**A4:** 現在の研究課題として、外国語教育での生徒・教師双方に関わる情意要因（心理的・感情的因素）の影響に注目しています。

(和訳補助：一般教育科 山口英一)

# 人事交流教員紹介

本年度、人事交流教員として3名の方が赴任され、1名の方が他高専へ移られました。そこで次の2つのことをお聞きしました。

Q1：前任高専と現任高専の違い Q2：前任高専と現任高専の学生の違い



機械工学科教授  
**福田 孝之**

[佐世保高専→有明高専]

**A1**：校舎の改修が全て終わっており、とてもきれいな建物や部屋で美しいです。特に、バリアフリー対策がよく講じられており、素晴らしい環境です。佐世保はまだ教室の改修のみが終わっただけで実験棟は古く、また、バリアフリー対策はかなり遅れています。ただ、主事室や学生課も含めた管理棟が、校舎の中央に位置すると便利だと思います。

**A2**：全学生が自然によくあいさつなされており素晴らしいことです。また、掃除もよく実施されており、学生の意識が高いと思います。3年以上になると学科棟内の教室になるため、学科への帰属意識が強いと感じられます。佐世保は教室棟と専門棟が分かれており、5年生までの全学科のクラスが教室棟に配置しているので、学生間の交流は行いやすいようです。よい環境の下、社会で通用する実力を備えた技術者になるべく、高い目標に向けて頑張って欲しいと思います。



機械工学科助教授  
**塚本 公秀**

[鹿児島高専→有明高専]

**A1**：環境については有明高専は周りが住宅地なのに比べて、鹿児島高専（以後高専略）は商業地域にあり大型スーパー、コンビニ、ゲームセンターがあり消費生活者として学生には便利な環境ですが、勉強のためには気が散りやすい環境であることが一番大きい違いです。ただ近くに史跡があるのは共通です。有明は萩尾古墳が、鹿児島には隼人塚があり、古代の歴史を感じさせられます。有明は学内施設全体が新しく学生は恵まれています。鹿児島は講義棟の一部と専攻科棟は新しいが、冷暖房は今年からやっと全教室に完備されたところで、学生会館に実験室が同居しているなど整備中で、学生はかわいそうだと感じます。寮も男女を問わず暖房のみです。有明より南に位置していますが冷房設備は寮食堂のみで頑張っています。寮生数も倍以上ですので、こじんまりした落ち着きのある寮生活のようとの印象を持っています。福利厚生施設では有明は食堂が広く明るいです。図書館の開架の本の数は有明が少ないので本を見ながら選ぶ楽しさが得られないのではないかでしょうか。

**A2**：学生達の過ごし方の違いですが、有明は2年生が混合クラスと興味深い制度があります。高専は技術系なので考え方方が狭くなりがちですから、2年生では多くの友達と交わって相手の立場に立って考えることのできるようになってください。鹿児島は自学科の先生とはあいさつを交わしますが他の教職員の方にはあいさつしない学生が多いので、有明の学生がよくあいさつしてくれるのに感心しました。学内には共同研究や求人のために企業の方が多く見えますので、関係なくあいさつは交わしてもらいたいと思います。



一般教育科助教授  
**小鉢 暢夫**

[八代高専→有明高専]

**A1**：とりあえずは、次の3点をあげておきます。

①建物の数とその造り：八代は、1年から3年がいる一般棟。生物棟と他の3学科がいる専門棟の3つになります（有明は一般教育棟と5つの学科別々の専門棟）。そして、造りは廊下をはさんで教室と教員室が並ぶ対面式です。エレベーターはありません。有明の設備環境に目を丸くしています。

②掃除時間との回数：八代は、毎週火曜日と金曜日の昼休み後15分（実質10分）の2回だけ。全学生と全教員で、屋内と建物周辺の掃除を行っています。

③授業時間：八代は、100分授業の4コマで実施。また、火曜日の3限目終了後（有明では7限目）が、全学年50分のLHRになっているので、学校行事の際はここをカットし午後3時頃から始められるので、短縮時間割というものはありません。

**A2**：この1ヶ月は、自分自身が慣れるのが精一杯で、あまりよくわかっていません。ただ、休み時間に学生達がスポーツをしているのは、八代では見られない光景なので驚いています。



八代高専一般科助教授  
**西山 治利**

[有明高専→八代高専]

みなさん、お久しぶりです。八代高専の西山です。今回、人事交流ということで、有明高専から八代高専に移りましたが、以下の2点について感じたことを述べたいと思います。

**A1**：まず、八代高専は100分授業です。赴任する前は、100分間どのように学生たちの集中力を保とうかと考えていましたが、100分の授業で行うということがわかっていると学生たちも大丈夫のようです。3年生に100分授業はきつくなるかと尋ねたところ、それに慣れているので、逆に短くなったほうが戸惑うと言っていました。また、八代高専の建物は開校当時（昭和48年）のままなので、有明高専に比べると建物が古いですね。しかし、八代高専は、全校一斉清掃が週に2回、昼休み後にあります（その日だけ、午後の時間が10分遅れで動いています。）。その時間は、だいたいの先生が掃除担当箇所に張り付いて清掃の指導を行っていますので、校内はきれいです。

**A2**：有明高専も八代高専も、学生はあまり変わらないと感じています。両校とも、真面目な学生が多く、あいさつもきちんとしています。学校がある環境が似ているからでしょうか？それとも、高専生の気質なのでしょうか？最後に、勉強や部活をしっかりと頑張り有意義な高専生活を送って、社会で活躍できる技術者になってください。

# 新任職員紹介

本年度、新たに事務職員10名の方が赴任されました。そこで次の4つのことをお聞きしました。

Q1:本校に来る前は？ Q2:高専あるいは本校学生の印象について？ Q3:趣味は？ Q4:抱負を一言



庶務課長

大平 和美

- A1**: 本年4月から出身地でもある本校庶務課長に着任いたしました。法人化前後において、国立学校会計制度の大変革時期に大分高専会計課及び大分大学財務部資金・経理課（大分在住 4年間）に勤務し、「風のハルカ」でご存じの風光明媚で豊富な温泉のある大分で、公私共、貴重な経験をさせて頂きました。
- A2**: まだ、若輩の頃イメージしていた有明高専が素晴らしい施設になり、学生の活気ある行動・挨拶に大変感激いたしました。
- A3**: また、趣味に関しては、スポーツ全般（球技関係）観戦を含め、楽しむのが好きです。是非お声掛けください。
- A4**: 今後、本校の活性ある取組のために、これまでに培った経験を最大限活かし、微力ではありますがプラス志向で尽力する所存です。教職員皆様方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします。



庶務課図書係長  
有田 順一

- A1**: 九州大学文系合同図書室で、主に洋書目録を担当していました。
- A2**: 緑に恵まれた環境のよさが印象的です。学生さんはよくあいさつをしてくれて、元気で明るく気持ちがいいです。
- A3**: 週末は模型作りを楽しんでいます。まだまだ未熟ですが、接着面（継ぎ目）消しやパテ埋め後のペーパーがけ、エアブラシ（スプレー）による塗装など、きっちり作ることを目指しています。また、最近は、樹脂粘土を使ったフィギュアの製作にもチャレンジしています。それに伴って、人の顔の形状把握のため、デッサンも始めたのですが、なかなかうまく描けません。
- A4**: 気負わず、一日一日を大切にし、図書館サービスの向上に少しでも貢献できればと思います。また、利用者にとって、図書館が憩いの場となり、『目的はないけれども、なんなくまた図書館に来てしまった』という和やかな雰囲気作りを目指したいと思います。



庶務課人事係  
川村里絵子

- A1**: 九州大学（法学部）の学生でした。
- A2**: 4月には満開の桜に迎えられ、今は新緑を楽しみに通勤しています。すばらしい自然環境と、学生の明るいあいさつに元気をもらっています。
- A3**: 映画鑑賞、観劇です。
- A4**: 事務の仕事を通して工学のエキスパート育成の一助となれるように、ひとつひとつの仕事に、真摯に取り組みたいと思っています。



会計課出納係  
江島 美穂

- A1**: 八代高専・生物工学科で技術職員として学生実験や課題研究の指導を行っていました。
- A2**: 学校は広くて、設備が整っている感じがします。4月初めの桜並木が大変綺麗だったのが印象的でした。二つの高専を経験しましたが、学生さんは「純朴」で「素直」な点が共通しています。
- A3**: 前の職場ではテニスをよくやっていました（上手くはありませんが）。海外旅行をしたくて、数年間英会話を続けています。
- A4**: 学生さんと直接接することはあまりありませんが、機会を見つけて積極的にコミュニケーションをとつていければいいなと思っております。どうぞ、よろしくお願いします。



会計課用度係  
平木 薫

- A1**: 水産加工会社に14年間、農協に3ヶ月勤務していました。
- A2**: 私も高校の頃、友人がこの学校に通っていましたので文化祭には来たことがあったのですが、その頃からの印象はやはりあいさつが素晴らしかったことです。よく昼休みに図書館へ行くのですが、すれ違ったときなど大きな声であいさつしてくれる所以とても気持ちがいいです。
- A3**: ドライブと読書です。休みの日は家にじっとしているのが嫌なので、ほとんどといっていいほど息子とドライブに行きます。本は、特に推理小説が好きでよく読みます。
- A4**: 学校という今までに経験したことのない職場ですので、戸惑うことや失敗もあるかと思いますが、精一杯頑張って早く学校に慣れたいと思いますので宜しくお願い致します。



学生課専門員  
中川日出光

**A1**：人事交流で2年間久留米高専に行っていました。学生係の仕事をしていました。

**A2**：久留米高専の学生と比較して、真面目で素直だと思います。特に、新1年生の朝のあいさつを聞いて有明高専だと実感しました。

**A3**：週に1回、近所の人とテニスで汗を流しています。

**A4**：微力ながら、学校を良くするため、学生のため頑張りたいと思います。



学生課学生係  
新里 雄

**A1**：九州大学法学部の学生です。

**A2**：建物が新しく周囲の自然にも恵まれ、素晴らしい環境だと思います。学生のみなさんが立ち止まって頭を下げてあいさつしてくれるのには驚きました。こちらからもできるだけあいさつをしていこうと思っています。

**A3**：趣味は読書です。ジャンルは問わず、本の形をしているものなら雑誌でも漫画でも何でも読みます。好きな本であれば何十回読んでも飽きません。

**A4**：今は目の前にある仕事を片づけていくのが精一杯ですが、何事も質問することを恥じたり恐れたりせずに貪欲に吸収していくとする姿勢が大事なのではないかと実感しています。どうぞよろしくお願ひいたします。



学生課学生係  
朝隈万理子

**A1**：大学卒業後、損害保険会社の営業支社に2年間勤務していました。昨年10月に大牟田市に引越ししてきました。

**A2**：学生の皆さんのがいさつはとても元気で気持ちが良いです。4月には桜、今は緑に囲まれ、毎朝学校に来ると爽やかな気分になります。

**A3**：旅行が大好きです。学生の頃はよく海外旅行に行っていましたが、就職してからは国内旅行が多くなりました。福岡に来てからは、週末や連休に九州内の小旅行や温泉めぐりをしています。

**A4**：学生の皆さんや多くの人の役に立てるよう仕事に取り組んでいきます。また、色々な行事があるようですので、参加したり、雰囲気を楽しみたいと思います。よろしくお願ひいたします。



学生課寮務係  
青木 順子

**A1**：半年間コースの経理事務の学校に通い今年3月に卒業しました。その前は、大牟田市内の整骨院に勤務していました。

**A2**：有明高専の近くで育ってきたので、緑豊かな風景をなつかしく思います。学生達も元気でいさつしてくれるので、とてもうれしいです。

**A3**：ドライブとテニスです。

**A4**：1日でも早く寮務係としての職務に慣れ、寮母として皆さんに親しまれながら、寮生全員がより良い寮生活を送って行けるように支えなりたいと思います。よろしくお願ひします。



地域共同テクノセンター  
中村 純子

**A1**：以前は航空関係のお仕事に携わっていました。“100の言葉よりも1の笑顔”を常に心の中に位置づけて、取り組んでいました。

**A2**：自然環境がとても良く、とにかく元気で素直な学生が多いという印象を受けました。学生さんがよくいさつしてくれるので、とても気持ちがいいです。

**A3**：「おいしいもの」を求めてよくドライブを楽しんでいます。（食べることが大好きです）また、映画鑑賞が好きなので映画を観てはよく笑い、よく泣いています。

**A4**：テクノセンターでの事務のお仕事は、とても勉強になると日々実感しています。お役に立てることに対して、ていねいに取り組んでいきたいと考えています。

# 研修旅行記

5月16日(火)～19日(金)

## 機械工学科

三菱重工業株式会社飛島工場／愛知製鋼株式会社／トヨタ博物館／トヨタ自動車工場・トヨタ会館

## 電気工学科

日本航空株式会社羽田整備工場／日本IBM株式会社大和事業所／NHK放送センター／日本モレックス株式会社

## 電子情報工学科

東芝家電リサイクル工場／東芝科学館／ドコモR&Dセンター／富士通株式会社川崎工場／未来科学館

## 物質工学科

財団法人かずさDNA研究所／独立行政法人製品評価技術基盤機構／花王株式会社川崎工場／富士写真フィルム株式会社神奈川工場

## 建築学科

海遊館／大阪府立近つ飛鳥博物館／法隆寺／薬師寺／東大寺／神戸異人館／阪神淡路大震災記念館・人と防災未来センター

### 機械工学科

4M 橋本 圭司

私たち機械工学科は名古屋方面へ研修旅行に行きました。初々しいスーツ姿でのクラスは新たな緊張感と期待が詰まっているように見えました。最初に見学したのは三菱重工業飛島工場でした。ここでは航空機やHⅡAロケットなどを製作しており、宇宙をとても身近に感じることができました。また、最先端の製造技術を学ぶこともできました。次に愛知製鋼を見学しました。ここでは世界一の規模を持つ自動車のクランクシャフト製造ラインとその製造スピードを目の当たりに見学でき、とても関心を持つことができました。最後に見学したのはトヨタです。今世界一の自動車会社になろうとしている会社の生産ラインにはムダが無く、たくさんの工夫がなされていました。創造力と想像力とが目立つ工場と思いました。この研修で一番心に残ったのは、どの工場でも一生懸命に働いている人々の姿でした。



### 電気工学科

4E 河口 宗久

今回、東京の様々な会社の施設を訪ね、実際に現場で働く人々の姿を見学できることは、僕にとって貴重な経験となった。実際に日本航空羽田整備工場の内部を見学すると、そこはとても広い空間だった。そこには完成前の巨大な飛行機の機体が置かれていて、その機体を取り囲むように、複雑な通路や階段が何本も通っていた。見慣れない機械や鋼材などがいくつも積んであり、機械の音が絶えず響いている。圧倒された。そんな中、複雑なエンジンの内部を黙々と整備していく作業員。そんな姿を見ると、「自分は、こんな仕事ができるのだろうか」という不安も感じた。「飛行機が飛ぶ仕組み」についての講義のあと、質問の時間があった。機体の軽量化についての説明があったので、「更に軽量化するための材料はあるのですか」と聞いてみると、「近い将来、海外から新たな材料を導入する予定だが、それによって更なる機体の軽量化を図ることができる」とのことだった（難しい話だったのでよく憶えていないが）。

今回は、人々の働く「生きた現場」を実際に目で見て、自分の感じた疑問も相手に伝えることができた。とても意義のある研修となった。



## 電子情報工学科

4I 園田 貴之

今回4Iは、東京の研修旅行で企業見学や自主研修に行ってきました。初日は、横浜市の東芝家電リサイクル工場と東芝科学館を見学しました。リサイクル工場では、家電製品をA~Fのパートに分けて解体していました。又、パソコンの解体をものすごいスピードでしている人がいました。みんなとても大変そうでした。東芝科学館では東芝の技術を体験できました。佐伯君と静電気を体験しました。その後の横浜のホテルは、とても豪華で景色もよく、みんなびっくりしていました。2日目は、ドコモR&Dセンターと富士通川崎工場を見学しました。ドコモR&Dセンターでは、映画に出るような最先端技術の研究開発を行っていて、近い将来がとても楽しみになりました。富士通では、パソコンの歴史や実際の職場を見学しました。3日目の自主研修は終日自由だったので、みんないろいろな所に行って、とても疲れました。山手線など理解するのに苦労しました。4日目は、お台場と未来科学館を自由に見学しました。3泊4日だったけど、



自分の将来のいい材料になったし、一生の思い出になりました。最後に引率の先生方、見学先の方々、本当にありがとうございました。



## 建築学科

4A 森 勇一郎

3泊4日の研修で私達は、京都・奈良・大阪・神戸を訪ねました。研修日程の天気がほとんど雨という中で、古代・中世・近代・現代の建築物を見学してきました。特に古代の寺院建築は、これまでの日本建築史の授業で習った知識があったため、観光とは一線を引き、屋根や構造、内部の装飾などの細かい部分を進んで見学し、さらに理解を深めました。自由行動では、予め決めていたルートをグループでまわり、楽しみながら見学しました。また、毎晩のミーティングでその日の見学で気づいたことなどを各自発表し、より一層理解度を深めることができました。

今回の研修は、楽しながらもしっかりと勉強し、と

## 物質工学科

4C 甲斐 架乃子

私たち物質工学科は、関東へ研修に行ってきました。訪問した企業は、かずさDNA研究所、NITE、花王川崎工場、富士フィルム神奈川工場の4社です。すべての企業で、最先端の技術を見学することができて、驚きや感動の多い研修内容でした。何より、今、私たちが学んでいることの応用により、これらの技術が利用されていると目で見て肌で感じることができたのがいちばんの収穫だったと思います。見せていただいた技術を担い、発展させてゆくのが私たちの世代だと思うと不安はあります。しかし、より明確な「未来」を感じることのできた4日間は、私にとってとても有意義な4日間でした。



ても有意義なものでした。この4日間を終えて、得たものを今後に生かすことは勿論、何より高専生活の大きな思い出になりました。



# 新入留学生紹介

Leo Agung Andi Bhaskara  
(レオ アグン アンディ バスカラ)



僕はインドネシアからきたレオです。インドネシアは、東南アジアにあって、赤道が通るので、毎日蒸し暑いです。インドネシアの人口はおよそ2億3千万人で、ほとんどがイスラム教徒です。母国語はインドネシア語ですけれど、インドネシアには、部族がたくさんあって、それぞれの部族は違う言語で話しています。インドネシアの首都はジャカルタです。

僕は、有明高専で、専門の勉強だけでなく、いろいろなことも、教えていただきたいと思います。僕は東京にいたとき、標準語しか勉強していませんでした。ですから、ここに来たばかりで皆さんの話をよく分かりません。方言も教えていただきたいと思います。皆さん、これから、よろしくお願ひいたします。

# 留学生歓迎会

4月27日(木)

インドネシアからの留学生のレオ君（電気工学科3年）が本校に入学しました。彼の歓迎と関係教職員と学生との親睦を兼ねて、4月27日に新入留学生歓迎会を行いました。レオ君の流暢な日本語によるスピーチ、吹奏楽部の演奏、学生会長の佐々木君の歓迎のあいさつなど、楽しい一時を過ごすことができました。

## 有明高専新入留学生歓迎会



歓談の様子



本校在学中の留学生たち

# 編入学生紹介



4M 上内 将之  
福岡工業



4M 安河内 裕樹  
福岡工業



4M 矢ノ浦 彰  
福岡工業



4M 吉田 純児  
天草工業



4E 高瀬 剛  
福岡工業



4E 西川 一聖  
玉名工業



4E 松本 晋治  
天草工業



4E 丸田聰史  
福岡工業



4E 行弘 良助  
福岡工業



4I 草場 鷹将  
浮羽工業



4I 佐藤 隆弥  
小川工業



4I 野川 雄一  
福岡工業



4C 西村 悟  
熊本工業



4C 村上 祐一  
熊本工業



4C 村田 曜信明  
福岡工業



4A 釜我 勇志  
熊本工業



4A 田中 日路美  
佐世保工業



# 新入生阿蘇オリエンテーション

5月10日(水)～12日(金)



## 阿蘇研の感想

11 下河 希恵

阿蘇研はとにかく楽しかったです！校歌の練習は、思っていたよりスゴくてびっくりしました。特に機械とか電気は、もう目が点になりました。なんとか負けないように頑張ったけど、勝てたかは不明です。

1日目は、雨雨雨雨という感じでした。バスの中はとても楽しくて、酔わなくて良かったです。青年の家に着いたときは、阿蘇の空気を吸ってとてもスッキリしました。そしてあの仙酔峠ハイキング。途中からどしゃ降りで寒かったですけど、体力はついたと思うし、花がとてもキレイでした。その後のお風呂はとても気持ちよかったです。校歌の練習では、みんなのために頑張らなきゃいけないということを学びました。

2日目は待ちにまつたオリエンテーリング。私はあんまり役に立たなかったけど、二百点満点だったので嬉しかったです。山で班のみんなで食べたお弁当はとてもおいしかったです。その後の自由時間に、バドミントンとかやって、私はテニスしかできないから下手だったけど楽しかったです。そしてそして阿蘇研で一番楽しかったホームルーム。みんなナイスキャラでめちゃめちゃ笑いました。このホームルームで、またみんなとの距離が縮まった気がします。本当に楽しかった。

3日間の阿蘇研を通して、いろいろなことを学びとることができました。協力することの大切さ、年上や年下の方々への礼儀などなど。とても有意義な研修になったと思います。今から大牟田に戻って家に戻って、阿蘇研の余韻にひたりながらゆっくり体を休めようと思います。最後に。阿蘇研最高！



## 阿蘇研修の反省

1C 吉本 百合

阿蘇研修で私は、たくさんの友達を作ることができました。オリエンテーションなどを通して、今までしゃべったこともなかつた人としゃべれたり、今まで仲が良かった人とも、さらに仲良くなれたと思います。

阿蘇研修1日目で、いきなり大雨の中を歩かされて、本当にきつかったです。けど、きつい思いをして頂上まで登りきった時の気持ち良さは、そのきつさよりも、もっともっと大きなものでした。

2日目のオリエンテーリングでは、地図とコンパスだけで山の中を歩かなくてはいけないということで、同じ班の友達や、途中で会う他のクラスの人達との協力がなければ、できないことだと思います。たまに、他の人に頼りすぎて道に迷ってしまったりしたけど、オリエンテーリングで、協力して何かをすることを学びました。

けれど、阿蘇研修で、一番学ぶことができたのは、団体行動をする中での決まりを守る大切さだと思います。阿蘇研修では、食事の時間や入浴の時間まで全てにおいて時間が決められており、つねに時間を気にしながら、行動しなければなりません。普段、家では味わうことができない団体行動をする上で、一番大切な事だと思います。

阿蘇研修にきて、いろんなことを学べたので良かったと思います。



# 専攻科 新入生一泊研修

4月20日(木)～21日(金)

新入生（24名）同士の親睦と専攻科生としての自覚を持ってもらうために、4月20日(木)～21日(金)に「リフレスおおむた」で新入生研修を行いました。20日午後、スクールバスで学校を出発し、研修施設に到着後、すぐに研修に入りました。新入生の自己紹介後、専攻科長より「教育プログラム」についての説明があり、続いて「これから日本の技術のありかた」と題して校長講話が行われました。研修終了後、4班に分かれて夕食準備に取りかかりました。17時30分から強風でしかも寒い野外で校長先生も一緒にバーベキューパーティーを開催しました。その後も施設内で校長・教職

員を囲み夜遅くまで学生達との談笑が続きました。

2日目は10時30分から大牟田エコタウンで、昼食を挟んで、リサイクルプラザ、RDFセンター（ゴミ固形燃料の製造）、RDFを燃料とするリサイクル発電所などを見学しました。前日の疲れも見せず、施設内の説明にも熱心に聞いていました。専攻科生の真面目さには感心しました。帰校後、本科の新入生歓迎会にも元気に参加しました。参加学生、教職員の協力により有意義な研修を無事終えることができました。新入生のこれからの活躍を期待しています。（専攻科長 C科 宮本信明）



バーベキュー



校長との談笑



エコタウン見学

## 宇宙航空研究開発機構鹿児島宇宙センター所長 園田昭眞氏（M科2回生）のメッセージ（全文）

### 有明高専始業式へのメッセージ

有明高専の皆さん、こんにちは。平成18年度の始業式に当たり、皆さんへメッセージをお伝えできることは大変喜ばしく、光栄です。

約4年前の高専祭での講演を5年生は覚えていますか？あの時お話をしたことから、宇宙開発も浮き沈みがありました。米国では、3年前の2003年2月1日スペースシャトル「コロンビア号」帰還時の事故による宇宙飛行士7名の尊い命の損失です。日本では、同年11月29日のH-IIAロケット6号機の打上げ失敗です。しかしながら、米国も日本も国家の威信を賭けて課題を克服し、見事に復活を遂げつつあります。特に日本においては私が所属します宇宙航空研究開発機構（JAXA）を中心として、失敗の直接の原因を解決するだけでなく、更なる信頼性向上に努め、今年の8号機、9号機の連続打上げ成功の快挙につなげることができました。これらのこととは一挙に解決したものではなく、一つ一つの積み重ねの結果なのです。

この国家プロジェクトに一部門の責任者として参加していますことは私にとりましてはこの上ない喜びであり、名誉です。有明高専の先生方、卒業生、在校生のご支援のおかげと深く感謝いたしています。しかしながら、成績優秀ではなかった私がこれだけの重責を務めることになったのでしょうか。自己流で整理しましたところ、コミュニケーション能力、協調性、責任感を認められたのではないかと思っています。大きな仕事を進める上で、重要な能力であり、性格です。これらは、有明高専における5年間の学生生活で培われたものと信じています。

私も今から42年前の1964年の4月、期待と不安で胸を膨らませて入学式に望んだのを今でもはっきりと思い浮かべることができます。その後の5年間でのクラブ活動、運動会、文化祭、工場実習、中間・期末試験、卒業論文の作成等苦痛であったことがすべて楽しい思い出ばかりです。今の私の生活と仕事をしている原点といつても過言ではありません。

私には数多くの友人がいます。大部分が高専時代の友人です。今でも年数回キャンプや一泊旅行などの交流を持ちます。激務に疲れた神経を本当に癒せるひと時です。また「頑張るぞ」という力が蘇ります。

宇宙開発の仕事に、多くの高専出身者が参加しています。残念ながら有明高専出身者は私だけです。皆さんの中から私の後継者や将来の宇宙飛行士が是非育ってほしいものです。夢ではなく努力しだいでは実現可能なのです。18年度も私たちJAXAは、種子島宇宙センターで3機のH-IIAロケットを内之浦宇宙観測所から1機のM-Vロケットを打ち上げる計画です。注目していただくとともに応援よろしくお願ひします。

最後になりますが、高専での5年間は、今は長いと感じられているでしょう。しかし人生全体からしますと短い時間です。この5年を有意義に使うのは皆さん自身です。私からの助言は、「夢を追いかけること」、「友人をたくさん作ること」だけです。新年度、心を新たにして学生生活を楽しんでください。

平成18年4月7日

宇宙航空研究開発機構

鹿児島宇宙センター 所長 園田昭眞

# 新入生歓迎行事

4月21日(金)

4月21日(金)に、新入生歓迎行事が行われました。1年生にとって初めての学生会行事ということで緊張はあったと思いますが、自己紹介や先生方の紹介を通して各学科ごとに1年生から5年生まで楽しく交流できたと思います。

今年は、高専祭があるので学科全体で協力し合うことが大切です。今回の行事を通して自分も学科という“組織の一員なんだ”ということを認識してほしいです。

これから高専祭へ向けて学年をこえた交流で団結力の強い学科ができれば良いと思います。

(5 I 佐々木陽光)



M科



E科



I科



C科



A科

## キャンパスクリーン作業

5月9日(火)

5月9日(火)、7時限目まで短縮授業を行い、それから約1時間半をかけて本科生・専攻科生と全教職員で除草作業を中心とした校内の清掃活動を行いました。曇りがちで、5月にしては蒸し暑い日でしたが、全員の努力で、校内が一段ときれいになりました。今後も校内の美化に関心を払って、美化に努めましょう。



修己館前での作業

## 春季球技大会

5月24日(水)

5月24日(水)に、春季球技大会が行われました。澄みわたった青空の中、その日の気温に勝るとも劣らない熱戦が繰り広げられました。また、皆さんの協力のおかげでスムーズな大会運営ができました。

回を追うごとに盛り上がりが高まっている球技大会ですが、冬季球技大会もさらなる盛り上がりを見せて欲しいと思います。

(5 I 辻 翔吾)

最優秀クラス		4 E		
優秀クラス		5 C		
種 目	優 勝	準優勝	M V P	
ソフトボール	専攻科	4 E	赤池 和哉	(専攻科)
バレー ボール	専攻科	4 E	堀 浩士	(専攻科)
ソフトテニス	3 M	3 E	徳永 翔	(3 M)
卓 球	1 I	1 C	井口 大地	(1 I)
女子バレー ボール	5 C	3 C	山崎 知恵	(5 C)



# 岱明寮だより

## 寮生指導者研修会 in 岱明寮

4月5日(水)、寮生指導者研修が岱明寮にて行われました。参加者は寮生会役員17名・寮務主事室スタッフ4名・寄宿舎運営員・寮務係・寮母さんの総勢28名で、寮生遵守事項の確認・寮生会主事室双方からの要望、重点目標など、今年度の寮の運営方針について、研修を行いました。



充実した研修を終え、桜の下で集合写真

## 入寮式

4月10日(月)12:00より、視聴覚室で、入寮式・入寮オリエンテーションが行われました。1年生67名、3年の外国人留学生1名、4年編入生12名の計80名が、岱明寮に新たに入寮しました。尾崎校長先生・寮務主事のお話、寮務主事補から寮生活についての説明、5M鋤先寮長や指導寮生の挨拶がありました。



寮長・指導寮生から新入寮生へ挨拶

## 今年度重点目標

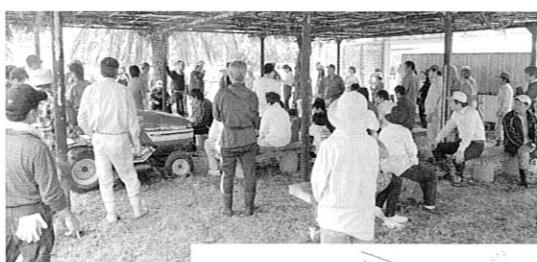
## 挨拶をしよう

## みんなで気持ちよく挨拶を交わそう

寮長 鋤先君より、今年度の岱明寮の重点目標が寮生総会にて発表されました。

## 岱明寮美化運動

5月27日(土)9:00から12:00過ぎまで岱明寮内の美化作業が行われました。70名を超える保護者の方々が参加され、有志の寮生・寮務主事室・寮務係・寮母さんとともに（総勢100名）草取りを行いました。お陰で見違えるほど寮がきれいになりました。



↑多くの保護者が参加。次回は在寮中の寮生にもっと参加して欲しいですね。



保護者の方々のパワーで学校のキャンバスクリーン作業よりも多くの草が取れたようです。寮に関心を持って頂きありがとうございます。

## 新入寮生歓迎夕食会

4月12日(水)、岱明寮において、新入寮生歓迎夕食会が行われました。昨年よりも10名程度多い80名の新入寮生が在寮生の拍手の中入場しました。校長先生からの挨拶、中島寮務主事による挨拶、出席教職員の紹介の後、会食が始まりました。その後、恒例の新入寮生一人一人による自己紹介が行われました。



↑入場  
指導寮生が  
1年生を  
エスコート



1年生が元気に挨拶

# 卒業生・修了生の進路

## 機械工学科

シバタ精機㈱  
㈱名村造船所  
㈱エーシーケー  
シマノ㈱  
東芝エレベータ㈱  
昭和鉄工㈱  
日立造船メカニカル㈱  
いすゞエンジニアリング㈱  
マキノジェイ㈱  
㈱D R D (日産ディーゼル技研)  
㈱マツダE & T  
キヤノン㈱  
三菱化学エンジニアリング㈱  
東レ㈱

サンピット㈱  
出光興産㈱  
安川エンジニアリング㈱  
ソニーイーエムシースイ一宮テック  
新日本石油化学㈱  
有明高専攻科  
九州工業大学工学部  
九州工業大学情報工学部  
長崎大学工学部  
熊本大学工学部  
大分大学工学部  
鹿児島大学工学部  
熊本工科自動車専門学校

## 電気工学科

パナソニックファクトリーソリューションズ㈱  
マツダ㈱  
㈱日本航空機整備成田  
凸版印刷㈱  
㈱三井ハイテック  
㈱B P A  
ソニーセミコンダクタ九州㈱  
㈱半導体エネルギー研究所  
西日本鉄道㈱  
安川エンジニアリング㈱  
東京エレクトロン九州㈱  
㈱ジェイコムテクノロジー  
サントリー㈱  
関西電力㈱  
日本放送協会  
出光興産㈱山製油所  
中外テクノビジネス㈱

サンリツオートメーション㈱  
㈱日立エンジニアリングサービス  
京セラ㈱川内工場  
九州電子㈱  
㈱ヤクルト本社熊本工場  
平田機工㈱  
㈱富士通南九州システム  
㈱富士通九州システム  
ソニーセミコンダクタ九州㈱  
㈱明電舎  
大分キャノンマテリアル㈱  
有明高専攻科  
佐賀大学理工学部  
熊本大学工学部  
長岡技術科学大学工学部  
豊橋技術科学大学工学部

## 電子情報工学科

サイバーコム㈱  
NHK福岡放送局  
ソニーEMCS(㈱木更津テック  
サン情報システム㈱  
ネクストウェア㈱  
㈱九州テクノロジイ  
佐賀大学技術職員  
大成印刷㈱  
㈱リコー  
㈱B P A  
㈱アルパック九州  
信号電材㈱  
㈱富士通九州システムエンジニアリング  
戸田テクノロジーサービス㈱  
リコータクノシステムズ㈱  
西テレ情報サイエンス㈱

N T T 西日本㈱  
翼システム㈱  
㈱ジェイエムネット  
アドシリ日進㈱  
ネットワークサービスアンドテクノロジーズ㈱  
ソニーEMCS(㈱西日本フロントセンター  
広島エルピーダメモリ㈱  
熊本ゼロックス㈱  
有明高専攻科  
九州工業大学情報工学部  
大分大学工学部  
筑波大学第三学群情報学類  
熊本大学工学部  
佐賀大学文化教育学部  
佐伯チズ チャモロシースクール  
デジタルエンタテインメントアカデミー

## 物質工学科

山崎製パン㈱  
中外テクノビジネス㈱  
チッソ石油化学㈱  
東亜石油㈱  
中外テクノビジネス㈱  
㈱半導体エネルギー研究所  
田中貴金属工業㈱  
第一紡績㈱  
ソニーセミコンダクタ九州㈱  
三洋化成工業㈱  
㈱東洋新薬  
㈱クリタス  
日東電工㈱  
㈱トクヤマ  
京セラ㈱川内工場

㈱エム・シー・エス  
日本ファインコーティングス㈱  
ニプロ㈱  
共栄樹脂㈱  
大日精化工業㈱  
日本化学産業㈱  
相互薬工㈱  
有明高専攻科  
広島大学工学部  
熊本大学工学部  
宮崎大学農学部  
佐賀大学理工学部  
鹿児島大学農学部  
豊橋技術科学大学物質工学系  
長岡技術科学大学生物機能工学課程

## 建築学科

ケン設備設計  
衛藤設計  
大和ハウス工業㈱  
㈱二チゾウテック  
㈱九州積算  
㈱横川ブリッジ  
日本オーチスエレベータ㈱  
㈱錢高組  
㈱ジョーコーポレーション  
上村建設㈱  
前田建設工業㈱  
㈱ユニオン建材ビルダー  
㈱鴻池組  
P & L  
㈱浅沼組

西日本旅客鉄道㈱  
㈱TAK-Q S  
川崎建築構造設計事務所  
戸田建設㈱  
ライフワーク工業㈱  
㈱大林組  
木石舎  
東レ建設㈱  
清水建設㈱  
㈱シーカス  
有明高専攻科  
吳高専攻科  
千葉大学工学部  
京都造形芸術大学芸術学部  
長崎大学工学部

## 生産情報システム工学専攻

㈱コマツ  
㈱ソニーコンピュータエンターテイメント  
日本鍛銅㈱  
安川電機㈱  
ソニーセミコンダクタ九州㈱  
キヤノンシステムアンドサポート㈱

## 応用物質工学専攻

中外テクノビジネス㈱  
ヤマハ発動機㈱  
㈱東洋新薬

三西開発㈱  
九州東海大学大学院  
九州大学大学院総合理工学府

## 建築学専攻

高砂熱学工業㈱  
大和ハウス工業㈱  
㈱セブテック建築研究所

㈱奥谷組  
㈱N T T ファシリティーズ  
早稲田大学芸術学校都市デザイン科

## 学生表彰 1年間皆勤賞

■ 1M 17名	■ 1E 13名	■ 1I 15名	■ 1C 22名	■ 1A 11名
■ 2-1 6名	■ 2-2 8名	■ 2-3 9名	■ 2-4 12名	■ 2-5 11名

## ロボットグラントプリ2006 開催

4月25日(火)

今年も4月25日に校内ロボコン大会「ロボットグラントプリ2006」が開催されました。今大会の競技は、20個の卓球ボールを打出して、750mm離れた位置においてある5本のピンを倒す「ボーリング」です。春休みから8チーム、46名（M科：38名、E科：1名、I科：1名、C科：3名、A科：3名）の学生が各自のマシーンを製作し始め、新学期が始まってからは夜22時まで残って製作を行いました。当日は、アクシデント等が発生して、本来の実力を発揮できないマシーンもありましたが、2回のパーフェクト試合を含

む白熱した大会となりました。2006年大会を制したのは、風でピンを倒すアイデアのマシーンで決勝戦をパーフェクト勝利した「Team清原～returns～」でした。惜しくも敗れはしましたが、浦島君（5M）率いる「Bチーム（仮）」が準優勝、アイデア賞を「よこしま」、技術賞を「チームA・LA・LA」が受賞しました。この大会で皆さんのが培った技術を活かして、10月に鹿児島で行われる「NHKロボットコンテスト九州大会」では、昨年よりも良い結果を残せるよう頑張りましょう！（M科 篠崎烈）

# トピックス

## 建築学科教授 北岡先生 内閣府特命担当大臣表彰

平成18年1月、北岡先生は、市民グループ「大牟田住まい・まちづくりネットワーク」を代表して、バリアフリー化推進功労者表彰（内閣府特命担当大臣表彰）を受賞しました。

同大臣表彰はバリアフリーに関する優れた取り組みを広く普及させる目的で設けられており、同ネットワークが取り組んでいるバリアフリー住宅土養成講習会、ケアマネージャーや在宅介護支援センター相談員等を対象とした福祉住環境の基礎を学ぶ講習会等による社会全体のバリアフリーの推進に対する功績が認められました。

なお、同ネットワークは、大牟田市における高齢化社会の住まいづくりに対応した人材育成を目的に平成12年6月に設立され、行政、建築関係者、福祉関係者、障害者等が参加しています。



前列右から2人目が北岡先生

## 認証評価 認定

本校は独立行政法人大学評価・学位授与機構から、高等専門学校機関別認証評価で評価基準を全て満たし、本校の教育と研究の質が「良好」との評価を受けました。昨年6月のJABEE（日本技術者教育認定機構）の認定に続く当認定により、本校の教育内容等の素晴らしいことが一層、社会的に評価されることになりました。



## 渡り廊下完成



3月17日、電子情報工学科棟2階と一般教育南棟2階とをつなぐ渡り廊下の渡り初め式が行われました。これまでに本校ではバリアフリー化を進めており、この完成でほぼ100%のバリアフリー化が実現しました。

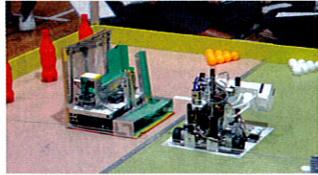
## ロボットグランプリ2006



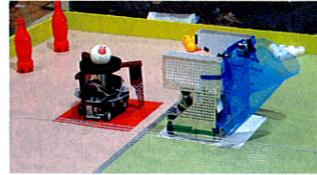
会場風景



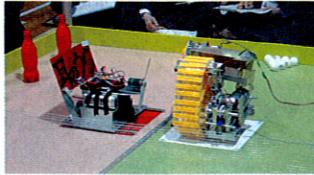
決勝戦 Team清原～returns～v.s. Bチーム(仮)



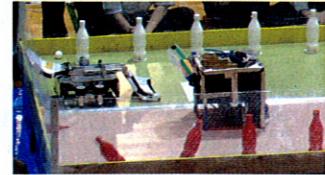
1回戦第1試合  
Bチーム(仮) v.s. M's M



1回戦第2試合  
びのきお組 v.s. いつまでもチェリーヤング



1回戦第3試合  
よこしま v.s. Team清原～returns～



1回戦第4試合  
チームA・LA・LA v.s. チームmorimi

## 編集後記

新学期が始まって2ヶ月半。季節は春から初夏へと移ろい、その変化を忘れないで咲いてくれる色とりどりの花々は、目を楽しませてくれ、心を和ませてくれます。どの花々も色々な表情を見せることでその存在感を示してくれています。この2ヵ月半の間、学校でも色々な行事が行われてきました。学生諸君も、クラスの中で、友達との間で、部活動の中で、その他、色々なところでアイデンティティを現し、存在感を出していることでしょう。今年度はまだ始まったばかり。どんな色でもいいので我が有明高専で咲いてみませんか。立派に花開けるように一日一日を有意義に送りましょう。

## 有明高専だより 第119号

平成18年6月15日

編集・有明高専広報室

発行・有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8861(学生課)

<http://www.ariake-nct.ac.jp/>